

平成24年度卒業論文

麻雀におけるプロと素人の違い

所属ゼミ 村澤ゼミ
学籍番号 1090401093
氏 名 中喜重

大阪府立大学経済学部

要約

麻雀は運の要素が強いゲームであるがその中でもプロと呼ばれる人たちが存在する。本稿では、日本プロ麻雀協会とオンライン麻雀ゲーム「雀龍門」の牌譜データを用いてプロと素人の打ち方の違いを考察する。

第1章	はじめに	4
第2章	先行研究	5
第3章	データ	6
第4章	分析手法	

第1章 はじめに

第2章 先行研究

麻雀は古くから「裏スジは危ない」や「流れが悪い」といったことが言われてきた。しかし、近年そのような不安定な要素を排除し、データを分析することによって強くなるコツをつかむという研究がなされている。

とつげき東北（2007）ではセガネットワーク対戦麻雀「MJ4」から800万局に及ぶ牌譜データの提供を受けて、麻雀における強者と弱者の打ち筋の違いを分析している。そして上がり、振り込み、鳴きといったさまざまな観点から強者と弱者の実力差を見てみたところ、平均順位が高い、つまり強者である人ほど上がり率が高く、平均上がり点が低いという結果になった。

この研究は MJ4 のプレイヤーのみを対象としている。本稿ではこれらの研究を踏まえ、日本プロ麻雀協会という麻雀のプロと素人を比較対象とし、プロと素人の打ち筋の違いを検証する。

第3章 データ

本稿で用いられるデータは日本プロ麻雀協会と雀龍門が提供している牌譜データである。

1 日本プロ麻雀協会

日本プロ麻雀協会とは、麻雀の普及と発展に関する事業を行い、人類文化の向上に寄与することを目的とする社団法人団体である。当協会では雀王戦、雀竜戦、オープン戦などさまざまなタイトル戦がある。ルール・役は一般的に広く使われているものを採用する。本稿で用いる牌譜は第8期雀王戦と第8期雀竜位戦のもので当協会ホームページに公開していたものを用いた。

2 雀龍門

雀龍門とは、韓国のエヌ・シー・ソフト社が開発したオンライン麻雀ゲームである。公式卓、友人卓、練習卓の3つで構成されている。友人において筆者他6名が、実際に麻雀を打ち、素人の牌譜データを作成した。

第 4 章 分析手法